

燕市産業史料館で「水燕鋸工会 作品展」を開催
— 「Revival〜再展〜」をテーマに金工作品が並びます —

日本で唯一の鋸起銅器産地である燕市を拠点として、制作を行う金属工芸作家の集団「水燕鋸工会」による作品展を4月19日から燕市産業史料館で開催します。

今回で20回目となる本展は「Revival〜再展〜」をテーマとして、過去に出展された作品の中でも好評だった作品が並び、日々の技術研鑽を行う6名の金工作家の“技”を紹介します。また、会期中は水燕鋸工会の会員による作品解説会を実施します。

【「水燕鋸工会 作品展」の概要】

- 1.会 期：4月19日(金)～5月19日(日)
- 2.時 間：午前9時～午後4時30分
※休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）
- 3.会 場：燕市産業史料館（大曲4330-1）別館企画展示室
- 4.入館料：大人 400円、小・中・高校生 100円
※市内小中学生と付き添いの保護者1人は、ミュージアム
パスポート展示で土・日・祝日無料
- 5.内 容：「Revival〜再展〜」をテーマとした作品をはじめとする鍛金・彫金作品
- 6.展示数：約50点
- 7.作品解説会：①4月21日(日) 解説者：高橋純一氏、岡本秀雄氏
②5月5日(日・祝) 解説者：石高靖男氏、細野五郎氏
③5月12日(日) 解説者：早川常美氏、椛澤伸治氏
※各回午後2時～午後3時（申込不要）



▲産業史料館ホームページ

※水燕鋸工会

水燕鋸工会は1986年に発足し、結成当時の金属工芸作家6人が会員として活動しています。会の名称は、会員が拠点を置く燕市と分水町（現燕市）より一文字を用いて名づけられました。



本件についてのお問い合わせ先
燕市産業史料館：桑原、齋藤
電話：0256-63-7666（直通）